

## 令和6年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立金曾木小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題		育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
知識 び 識	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの教科においても、5年生までの既習事項が定着している児童が少ないこと。</li> <li>ドリルの丸付けと直しをすることが苦手な児童が多いこと。また、テストや自分が解いた問題の見直しについても、ほとんどの児童に苦手さが目立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて、教科書や資料から必要な情報を読み取り、その知識を活用して問題を解決する力。</li> <li>分からぬことや自分だけでは取り組めない時に、必要に応じて友達と聞き合い、自分で学習を進める力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題が終わった児童には、個別最適な学びとして発展的な課題を用意する。</li> <li>月に一度、既習事項確認テストを行い、基礎学力の定着を促進する機会を設定する。</li> <li>日常的に国語辞典を使用させ、熟語や慣用句をはじめとする日本語力を高めさせる。</li> </ul>
表現 し じ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で考えたことを文章で表現すること。</li> <li>記述式の問題や文章問題の正答率が低く、前後の文章を読んで解答する問題に対しての抵抗感が強いこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で考えたことを、文章で分かりやすく表現する力。</li> <li>目的に応じて複数の教科書や資料を読み取ったり、友達に自ら働きかけたりして、自分の考えを見直し、さらに広げたり深めたりできる力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座席配置をコの字型や4人グループ、2人組にすることで、主体的・対話的に学び、問題解決する力を身に付ける。</li> <li>児童が思考を深め、一人一台端末を含めた情報活用能力を駆使して、情報リテラシーの力を養いながら主体的に45分学び続けられる課題や発問を設定する。</li> </ul>
集中力 に に に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が苦手だと感じている教科や内容について、著しく意欲が低下してしまうこと。</li> <li>テストでわからないところを回答せずに諦めて空欄にしてしまうこと。</li> <li>分からないことをわからないと言えず、そのままにしてしまうこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて、教科書や資料から必要な情報を自分で読み取ろうとする力。</li> <li>分からぬことは資料を使って調べたり、「分からないから教えて」と友達に聞いたりして、自分で学習に向き合おうとする力。</li> <li>自分の学習を調整したり、自分の取り組み方を振り返ったりして、次の学習に結び付ける力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の校内研究の主題を「一人残らず45分ずっと学ぶ授業づくり」と設定し、月に一度の授業研究を行う。児童の学びを見取る教員の目や耳を養い、適切な支援ができる力を養っていく。</li> <li>毎日取り組む家庭学習で、学習した内容と結び付け調べ学習を課したり興味のあることを調べたりさせ、授業の中で調べたことをまとめさせる。</li> </ul>

